

問 仮換地指定率94%と使用収益開始率67%の開きはどのように考えるか。

答 仮換地指定は工事前の段階で実施し、使用収益の開始は周辺の街路全ての整備が完了した街区から行っているために差が生ずる。

問 3年度の保留地処分事業はないとのことだが、重要な財源として今後の見込みは。

答 3年度は街路整備が整わないことから売却可能な保留地はないが、整備の整ったところから順次売却を進める。

問 3年度の国庫補助金は、約3800万円となっているが、今後の見込みを伺う。

答 元年度の交付率は47.1%、2年度は23.9%なので、年々厳しい状況となっている。

問 土地区画整理地内の市有地は何箇所、面積はどの程度であるか。

答 地区内に点在する市有地は、16画地、全体面積で約4870㎡である。

問 残事業費約30億円となっているが、いつ頃までに事業を完了する考えか。

答 10年度を目標に事業を進める。

令和
3年度

企業会計予算

議案
第24号

可決

水道事業

問 施設老朽化に伴う更新事業は石綿セメント管更新と高岩浄水場設備改良の2件のみか。

答 耐用年数を経過している施設のうち、3年度は石綿セメント管及び高岩浄水場設備の改良を予定している。

問 耐用年数を経過している管路はどのくらいあるのか。

答 耐用年数を経過している管路は、元年度末において60km、割合にして約25%である。

問 水質について、消毒副生成物の濃度が高い。有効塩素濃度の管理はどうしているのか。

答 自己水源の水質に応じ塩素消毒を行っており、塩素注入量が多くなると消毒副生成物が多くなる傾向にある。塩素注入量を抑えたい一方で、有効塩素濃度を維持するため、夏季高温期に管末において停滞水を排水するなど良好な水質維持に努めている。

議案
第25号

可決

公共下水道事業

問 本事業は独立採算が原則だが、今後、どのように経営していくのか。

答 現在、下水道使用料をどうするか下水道事業審議会の中で検討している。まずは、汚水の処理単価に近づけ、処理単価部分の基準外繰入を無くしていくよう考えている。

問 汚水幹線工事は、篠津北東部に向かっているが、今後どの地区を整備する予定か。

答 残りの事業認可区域である白岡工業団地の整備に向け、工事を進めていく。

議案
第26号

可決

農業集落排水事業

問 農業集落排水の公共下水道への接続の際、現在の処理場はどうなるのか。

答 処理場は、汚水を汲み上げるポンプ施設とし、建物は、防災倉庫等公共用の施設として残す形となる。

〈令和3年度企業会計予算〉

議案	結果	事業名	区分	収入総額	支出総額
24	可決	水道事業	収益的	11億2488万2千円	10億2790万3千円
			資本的	4143万5千円	5億2183万1千円
25	可決	公共下水道事業	収益的	9億8376万6千円	9億5845万円
			資本的	7億1645万5千円	9億7578万6千円
26	可決	農業集落排水事業	収益的	8814万4千円	8795万1千円
			資本的	1995万4千円	3638万4千円